



平成 22 年 1 月 28 日

各 位

会 社 名 旭 松 食 品 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 木下 博隆
(コード 2911 大証第 2 部)
問合せ先 執行役員経理部長 足立 恵
(T E L 06-6306-4121)

当社チルド製品の販売エリア縮小および工場閉鎖に関するお知らせ

当社は、平成 22 年 1 月 28 日開催の取締役会において、以下のとおり、納豆を主としたチルド製品の販売エリアを縮小するとともに、埼玉工場を閉鎖することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

1. 撤退する販売エリア、および存続エリア

撤退エリア・・・関東、東海、北陸 等

存続エリア・・・長野県、山梨県、および近畿以西

2. 閉鎖する工場の概要

名称 埼玉工場

所在地 埼玉県比企郡吉見町大字長谷 1957(吉見長谷工業団地内)

敷地面積 20,857 平方メートル

従業員数 62 名 (臨時従業員 41 名含む)

製造品目 納豆

生産能力 日産 50 万食

なお、埼玉工場については平成 21 年 3 月期第 2 四半期において正味売却価額まで減損損失を計上しております。(平成 20 年 11 月 13 日開示済)

3. 時期

平成 22 年 5 月 (予定)

4. 閉鎖する埼玉工場の従業員の処遇について

現在埼玉工場に勤務する正社員は当社の他事業所などへの配置転換により雇用確保に努めます。

5. 理由

最近の納豆市場の縮小傾向や販売競争の激化、原材料の高止まりにより納豆業界は大変厳しい経営環境におかれています。また、関東、東海エリアなどでは当社のシェアの下落が大きく、今後の業績の回復が見込めないと判断いたしました。

よって、当社の経営資源をより効率的に投下し業績の向上を図るため、該当エリアからの販売撤退と、その主たる生産拠点である埼玉工場を閉鎖いたします。

なお、当社のシェアが高く利益計上が見込まれる長野県、山梨県および近畿以西については引き続き製造販売を継続し業績の向上に努めてまいります。

6. 今後の見通し

今回の決定による業績に与える影響として工場閉鎖に伴う関連費用は特別損失として計上する見込みですが、現在精査中であり金額が確定しだい公表いたします。

以上